

会計名 一般会計			日高小学校大規模改造事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	教育総務課	
10	2	1					担当係	施設係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	老朽化した校舎の機能の回復及び教育環境の変化に適合させるために大規模な改修を行い、児童の教育環境の改善を図る。			主たる内容	昭和55年に建設された南舎及び昭和56年に建設された北舎の内外装、設備を一斉に改修する大規模改造工事を行う。 ○南舎 構造：鉄筋コンクリート造3階建て 規模：延床面積3,317㎡ ○北舎 構造：鉄筋コンクリート造3階建て 規模：延床面積1,650㎡			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	日高小学校の児童及び教員			事業期間	平成27年度～平成28年度		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
				<ul style="list-style-type: none"> 南舎の大規模改造工事を行った。 北舎の大規模改造工事の変更設計を行った。 		<ul style="list-style-type: none"> 北舎の大規模改造工事を行った。 北舎に空調設備を設置した。 普通教室 7室 特別教室 3室 			
成果		設備等に不具合を起こしていた北舎の機能面を回復することができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
活動指標		改修工事進捗率（％）			—	60.0	100.0	—	—
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費 ①		0	306,103	216,083	0	合計	216,082,555 円	
	財源	特定財源	0	292,207	2,950	0	工事請負費	216,082,555 円	
		一般財源	0	13,896	213,133	0			
	職員人件費 ②		0	1,410	1,876	0			
	総事業費（①+②）		0	307,513	217,959	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0		木の香る学校づくり推進事業 交付金（県）					
30年度以降の事業費見込		0							

会計名			日高小学校大規模改造事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	教育総務課
款	項	目		担当係	施設係
10	2	1			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	築後30年以上が経過し、各所に経年劣化が見られ児童の生活環境に影響が出ている。大規模な改修を行うことにより児童が落ち着いて学習・生活ができる場を整備することが必要となってくる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	改築までの維持保全という点で、必要以上の工事を行わなかったが、改築までの間、校舎の機能を十分維持できるだけの効果は期待できる。また、複数の工事を集中して行うことにより、機能低下に対する即応性に欠けるが、コストの削減を図ることができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	施設の改修であるため、所有者である市が責任を持って実施するべきである。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	遅滞なく日高小学校の北舎大規模改造工事を進めることができた。大規模改造は1棟あたりの費用がかかる反面、老朽化対策としての効果が非常に高い。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
	平成27年度に南舎、平成28年度に北舎の改修が完了した。				

会計名 一般会計			富士松中学校大規模改造事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	教育総務課	
10	3	1					担当係	施設係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	老朽化した校舎の機能の回復及び教育環境の変化に適合させるために大規模な改修を行い、生徒の教育環境の改善を図る。	主たる内容	昭和45年に建設された中舎の内外装を一斉に改修する大規模改造工事を行う。 ○中舎 構造：鉄筋コンクリート造3階建て 規模：延床面積3,439㎡					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	富士松中学校の生徒及び教員	事業期間	平成26年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		・中舎の大規模改造の実施設計を行った。		・中舎の大規模改造工事（設備改修）を行った。		・中舎の大規模改造工事（内外装）を行うとともに、南舎の大規模改造工事の設計を行った。		_____	
成果		設備等に不具合を起こしていた中舎の機能面を回復することができた。							
課題									
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
活動指標	南舎設計進捗率（％）		—	—	100.0	—	—		
活動指標	中舎改修工事進捗率（％）		—	60.0	100.0	—	—		
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費①		7,495	312,209	165,146	0	合計	165,146,040円	
	財源	特定財源	0	260,100	0	0	委託料	12,312,000円	
		一般財源	7,495	52,109	165,146	0	工事請負費	152,834,040円	
	職員人件費②		774	1,410	1,719	0			
	総事業費（①+②）		8,269	313,619	166,865	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0							
30年度以降の事業費見込		0							

会計名			富士松中学校大規模改造事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	教育総務課
款	項	目		担当係	施設係
10	3	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	築後40年以上が経過し、各所に経年劣化が見られ生徒の生活環境に影響が出ている。大規模な改修を行うことにより生徒が落ち着いて学習・生活ができる場を整備することが必要となってくる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	改築までの維持保全という点で、必要以上の工事を行わなかったが、改築までの間、校舎の機能を十分維持できるだけの効果は期待できる。また、複数の工事を集中して行うことにより、機能低下に対する即応性に欠けるが、コストの削減を図ることができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	施設の改修であるため、所有者である市が責任を持って実施するべきである。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	遅滞なく富士松中学校の中舎大規模改造工事（内外装改修）を進めることができた。大規模改造は1棟あたりの費用がかかる反面、老朽化対策としての効果が非常に高い。
今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
平成28年度に中舎の改修が完了するとともに南舎の大規模改造工事の設計を行った。平成30年度から平成31年度にかけて南舎の改修を行う。					

会計名 一般会計			依佐美中学校大規模改造事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	教育総務課	
10	3	1					担当係	施設係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	老朽化した校舎の機能の回復及び教育環境の変化に適合させるために大規模な改修を行い、生徒の教育環境の改善を図る。	主たる内容	昭和37年に建設された中舎の内外装、設備を一斉に改修する大規模改造を行う。 ○中舎 構造：鉄筋コンクリート造4階建て 規模：延床面積4,272㎡					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	依佐美中学校の生徒及び教員	事業期間	平成22年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		北舎の大規模改造工事を行った。		・中舎の大規模改造工事における変更設計を行った。		・中舎の大規模改造工事（内外装及び設備改修）を行った。 ・中舎に空調設備を設置した。 普通教室 23室 特別教室 6室		・中舎の大規模改造工事（内部改修）を行う。	
成果		中舎の大規模改造工事（内外装及び設備改修）を進めることができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
活動指標		中舎設計進捗率（％）		—	100.0	—	—	—	
活動指標		中舎改修工事進捗率（％）		—	—	60.0	100.0	—	
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費 ①		154,849	486	380,962	83,619	合計	380,961,684 円	
	財源	特定財源	97,251	0	0	41,000	工事請負費	380,961,684 円	
		一般財源	57,598	486	380,962	42,619			
	職員人件費 ②		1,267	862	1,641	1,517			
	総事業費（①+②）		156,116	1,348	382,603	85,136			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0							
30年度以降の事業費見込		0							

会計名			依佐美中学校大規模改造事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	教育総務課
款	項	目		担当係	施設係
10	3	1			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	築後30年以上が経過し、各所に経年劣化が見られ生徒の生活環境に影響が出ている。大規模な改修を行うことにより生徒が落ち着いて学習・生活ができる場を整備することが必要となってくる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	改築までの維持保全という点で、必要以上の工事を行わないが、改築までの間、校舎の機能を十分維持できるだけの効果は期待できる。また、複数の工事を集中して行うことにより、機能低下に対する即応性に欠けるが、コストの削減が図れる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	施設の改修であるため、所有者である市が責任を持って実施するべきである。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	遅滞なく依佐美中学校の中舎の大規模改造工事（内外装及び設備改修）を進めることができた。引き続き、中舎の内部改修工事を進める。大規模改造は1棟あたりの費用がかかる反面、老朽化対策としての効果は非常に高い。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
平成28年度で中舎の内外装及び設備改修が完了し、引き続き平成29年度に中舎の内部改修を行う。					

会計名		小垣江小学校大規模改造事業				担当部	教育部		
一般会計						担当課	教育総務課		
款	項					目	担当係	施設係	
10	2					1			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	老朽化した校舎の機能の回復及び教育環境の変化に適合させるために大規模な改修を行い、児童の教育環境の改善を図る。	主たる内容	昭和39年に建設された北舎の内外装、設備を一斉に改修する大規模改造工事を行う。 ○北舎 構造：鉄筋コンクリート造3階建て 規模：延床面積2,220㎡					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
	対象者	小垣江小学校の児童及び教員	事業期間	昭和26年度～平成28年度					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		北舎の大規模改造工事の実設計を行った。		_____		・北舎の大規模改造工事を行った。 ・北舎に空調設備を設置した。 普通教室 9室 特別教室 1室		_____	
成果		設備等に不具合を起こしていた北舎の機能面を回復することができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
活動指標		改修工事進捗率（％）			—	—	100.0	—	—
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費 ①		8,424	0	295,021	0	合計	295,021,181 円	
	財源	特定財源	0	0	3,786	0	工事請負費	295,021,181 円	
		一般財源	8,424	0	291,235	0			
	職員人件費 ②		2,675	0	1,876	0			
	総事業費（①+②）		11,099	0	296,897	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0		木の香る学校づくり推進事業交付金（県）					
30年度以降の事業費見込		0							

会計名			小垣江小学校大規模改造事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	教育総務課
款	項	目		担当係	施設係
10	2	1			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	築後30年以上が経過し、各所に経年劣化が見られ児童の生活環境に影響が出ている。大規模な改修を行うことにより児童が落ち着いて学習・生活ができる場を整備することが必要となってくる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	改築までの維持保全という点で、必要以上の工事を行わなかったが、改築までの間、校舎の機能を十分維持できるだけの効果は期待できる。また、複数の工事を集中して行うことにより、機能低下に対する即応性に欠けるが、コストの削減を図ることができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	施設の改修であるため、所有者である市が責任を持って実施するべきである。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	遅滞なく小垣江小学校の北舎大規模改造工事を進めることができた。大規模改造は1棟あたりの費用がかかる反面、老朽化対策としての効果が非常に高い。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
	平成28年度に北舎の改修が完了した。				

会計名			小垣江東小学校大規模改造事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	教育総務課	
款	項	目					担当係	施設係	
10	2	1							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	老朽化した校舎の機能の回復及び教育環境の変化に適合させるために大規模な改修を行い、児童の教育環境の改善を図る。		主たる内容	昭和58年に建設された北舎・南舎の内外装、設備を一齐に改修する工事を敷地内に併設する特別支援学校の整備に合わせて行う。 ○北舎 構造：鉄筋コンクリート造3階建て 規模：延床面積1,686㎡ ○南舎 構造：鉄筋コンクリート造3階建て 規模：延床面積2,981㎡				
	位置づけ	関連計画							
	根拠法令								
	対象者	小垣江東小学校の児童及び教員		事業期間	平成27年度～平成29年度				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 計画 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
				・特別支援学校の機能変更に合わせて北舎・南舎の大規模改造工事の実施設計を行った。		・特別支援学校の機能変更に合わせて北舎・南舎の大規模改造工事を行った。		・特別支援学校の機能変更に合わせて南舎の大規模改造工事を行う。	
成果		特別支援学校の機能変更に合わせて北舎・南舎の大規模改造工事を進めた。							
課題		工事が長期間に渡り、学校全体で施工されるため、子どもたちの教育環境と安全性の確保に万全を期す必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
活動指標	設計進捗率（％）		—	100.0	—	—	—		
活動指標	改修工事進捗率（％）		—	—	39.0	100.0	—		
他市との比較検証	市立の特別支援学校を開設している、瀬戸市や豊橋市の例を参考とした。								
C 事業コスト V	単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費①		0	26,155	166,138	196,980	合計	166,138,237 円	
	財源	特定財源	0	15,100	164,599	100,335	需用費	396,030 円	
		一般財源	0	11,055	1,539	96,645	工事請負費	164,599,006 円	
	職員人件費②		0	0	2,970	2,124	備品購入費	1,143,201 円	
	総事業費（①+②）		0	26,155	169,108	199,104			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0		学校施設環境改善交付金（国）					
30年度以降の事業費見込		0		繰越金					

会計名			小垣江東小学校大規模改造事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	教育総務課
款	項	目		担当係	施設係
10	2	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	築後30年以上が経過し、各所に経年劣化が見られ児童の生活環境に影響が出ている。大規模な改修を行うことにより児童が落ち着いて学習・生活ができる場を整備することが必要となっている。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	改築までの維持保全という点で、必要以上の工事を行わなかったが、改築までの間、校舎の機能を十分維持できるだけの効果は期待できる。また、複数の工事を集中して行うことにより、機能低下に対する即応性に欠けるが、コストの削減を図ることができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	施設の改修であるため、所有者である市が責任を持って実施するべきである。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	遅滞なく小垣江東小学校の北舎と南舎の大規模改造工事を特別支援学校の機能変更に合わせて進めることができた。大規模改造工事は1棟あたりの費用がかかる反面、老朽化対策としての効果が非常に高い。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
平成28年度に北舎と一部南舎の大規模改造工事が完了し、平成29年度に南舎の大規模改造工事を行う。					

会計名 一般会計			刈谷東中学校改築事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	教育総務課	
10	3	1					担当係	施設係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	老朽化による建物の著しい機能低下が進んでいる中舎・南舎の全面改築工事を行い、生徒の教育環境の改善を図る。	主たる内容	昭和29年に建設された中舎及び昭和31年に建設された南舎は、いずれも築後60年を経過しているため取り壊し、新たに2階建ての校舎を建設する。 ○校舎 構造：鉄筋コンクリート造2階建て 規模：延床面積4,051㎡ ○渡り廊下 構造：鉄骨造2階建て 規模：延床面積118㎡					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	刈谷東中学校の生徒及び教員	事業期間	平成27年度～平成29年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
				・中舎及び南舎の改築に向けた設計を行った。		・中舎及び南舎の改築工事を行った。		・中舎及び南舎の改築工事及び解体工事を行う。	
成果		刈谷東中学校中舎及び南舎の改築工事を進めた。							
課題		工事が長期間に渡り、学校全体で施工されるため、子どもたちの教育環境と安全性の確保に万全を期す必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
活動指標		設計進捗率（％）		—	100.0	—	—	—	
活動指標		改築工事進捗率（％）		—	—	28.0	100.0	—	
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費①		0	33,961	321,366	4,000	合計	321,365,600円	
	財源	特定財源	0	30,000	321,366	2,000	工事請負費	321,365,600円	
		一般財源	0	3,961	0	2,000			
	職員人件費②		0	1,410	1,797	2,276			
	総事業費（①+②）		0	35,371	323,163	6,276			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0		学校施設環境改善交付金（国）					
30年度以降の事業費見込		0		公共施設維持保全基金繰入金 刈谷東中学校改築事業債					

会計名			刈谷東中学校改築事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	教育総務課
款	項	目		担当係	施設係
10	3	1			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	築後最大60年が経過し、各所に経年劣化が見られ生徒の生活環境に影響が出ている。改築を行うことにより生徒が落ち着いて学習・生活ができる場を整備することが必要となってくる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	改築工事としてはあるが、新校舎を先に建築した後に旧校舎を取壊す施工法により、プレハブ校舎を建てることなく工事を進めることができるためコストの削減を図ることができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	施設の改築であるため、所有者である市が責任を持って実施するべきである。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	遅滞なく刈谷東中学校の中舎南舎改築工事を進めることができた。災害時における安全な避難場所の確保としての効果も認められる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
平成28年度から平成29年度にかけて新校舎を建設し、その後平成29年度中に旧校舎を解体するとともに、外構工事を行う。					

会計名 一般会計			空調設備整備事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	教育総務課		
10	3	1					担当係	施設係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実							
	目的	市内6中学校の普通教室等に空調設備を設置することで、生徒の安全と教育環境の向上を図る。			主たる内容	大規模改造や改築事業が実施されない校舎にある、普通教室122室、特別教室51室に空調設備を設置する。 ※大規模改造や改築事業を行う校舎は、当該工事に合わせて設置。				
	位置づけ									
	関連計画									
	根拠法令									
	対象者	市内小学校の児童及び教員			事業期間	平成27年度～平成29年度				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 O 実績 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
		・普通教室及び空調設備のない特別教室に空調設備を整備するための調査・設計を行った。		・空調設備を整備するための調査・設計を行った。		・普通教室及び空調設備のない特別教室に空調設備を設置する。				
成果		学校と調整しながら、空調設備の設計を行うことができた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
活動指標		設計進捗率（％）			—	5.0	100.0	—	—	
活動指標		工事進捗率（％）			—	—	—	100.0	—	
他市との比較検証										
C 事業コスト V		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費①		0	4,957	7,290	0	合計		7,290,000円	
	財源	特定財源	0	0	7,290	0	委託料		7,290,000円	
		一般財源	0	4,957	0	0				
	職員人件費②		0	548	391	2,656				
	総事業費（①+②）		0	5,505	7,681	2,656				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称				
28年度までの累積事業費		0		繰越金						
30年度以降の事業費見込		0								

会計名			空調設備整備事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	教育総務課
款	項	目		担当係	施設係
10	3	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	教室に天井扇風機が設置されているが、昨今の温暖化の影響により、扇風機のみでは暑さを十分に和らげることが困難な日がある。空調設備を設置することにより生徒が落ち着いて学習・生活ができる場を整備することが必要となってくる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		普通	一斉に空調設備を設置することにより、適正な能力の室外機を効率的に配置できる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		高い	施設における設備の整備であるため、所有者である市が責任を持って実施するべきである。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		高い	遅滞なく中学校に空調設備設置工事に向けた設計を進めることができた。空調設備設置には費用がかかる反面、暑さ対策としての効果が非常に高い。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
空調設備を平成29年度に全中学校に設置し、平成30年度に全小学校に設置する。					

会計名 一般会計			特別支援学校建設事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	教育総務課		
10	4	1					担当係	施設係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実							
	目的	肢体不自由児が市外の特別支援学校へ長時間をかけて通学する負担を軽減するとともに、障害のある子とない子が共に学べる環境を整備する。		主たる内容	小垣江東小学校北舎を改修及び増築し、最大70人が通うことができる肢体不自由に特化した特別支援学校を併設する。 ○増築校舎 構造：鉄筋コンクリート造3階建て 規模：延床面積2,354㎡ ○スロープ棟 構造：鉄骨造3階建て 規模：延床面積513㎡ ○既設校舎 構造：鉄筋コンクリート造3階建て 規模：延床面積1,455㎡					
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	特別支援学校施設整備指針							
		対象者	衣浦定住自立圏域肢体不自由児・者	事業期間	平成28年度～平成29年度					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
						・特別支援学校の建設工事を行った。		・特別支援学校の建設工事を行う。		
成果		特別支援学校の建設工事を進めた。								
課題		工事が長期間に渡り、学校全体で施工されるため、子どもたちの教育環境と安全性の確保に万全を期す必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
活動指標		建設工事進捗率（％）			—	—	39.0	100.0	—	
指標										
他市との比較検証		市立の特別支援学校を開設している、瀬戸市や豊橋市の例を参考とした。								
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費①		0	0	264,389	552,343	合計	264,389,129円		
	財源	特定財源	0	0	240,919	551,982	工事請負費	264,389,129円		
		一般財源	0	0	23,470	361				
	職員人件費②		0	0	3,048	3,035				
	総事業費（①+②）		0	0	267,437	555,378				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	28年度特定財源名称				
		28年度までの累積事業費			0	公立学校施設整備費負担金（国）				
30年度以降の事業費見込			0	繰越金						

会計名			特別支援学校建設事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	教育総務課
款	項	目		担当係	施設係
10	4	1			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 	高い	現在、半田市の県立ひいらぎ特別支援学校等他自治体の特別支援学校へ長時間かけて通っている児童生徒の負担軽減を図る必要がある。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 	高い	既存の小垣江東小学校と併設することで、効率的な施設利用が可能となる。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 	普通	本来の設置主体は県であるが、市立での事例も増えており、衣浦定住自立圏域の中で本市が主体となり特別支援学校を設置することによる有益性は高いといえる。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 	高い	強い市民要望がある中で、特別支援学校の整備は、施策として高い貢献度に繋がると思われる。	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
策定された実施計画に基づき、平成28年度から平成29年度にかけて建設工事を行う。					

会計名 一般会計			第一学校給食センター建設事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	教育総務課	
10	7	5					担当係	施設係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校給食の充実						
	目的	第一学校給食センターを建て替え、給食に求められる安全な調理環境を維持・向上させるとともに、特別支援学校に通う子どもたちの状況に合わせた給食を調理する体制を整備する。	主たる内容	昭和56年に建設し、老朽化した第一学校給食センターを小垣江東小学校の敷地内に移転新築する。 ○給食センター 構造：鉄骨造2階建て 規模：延床面積4,262㎡ ○渡り廊下 構造：鉄骨造2階建て 規模：延床面積95㎡					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市内小中学生及び教員	事業期間	平成26年度～平成29年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 O 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		・第一学校給食センターの基本設計を行った。		・第一学校給食センターの実施設計を行った。		・第一学校給食センターの建設工事を行った。		・第一学校給食センターの建設工事を行う。	
成果		小垣江東小学校の敷地内に併設する特別支援学校の建設と調整しながら、第一給食センターの建設工事を進めることができた。							
課題									
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
活動指標		設計進捗率（％）			26.0	100.0	—	—	—
活動指標		建設工事進捗率（％）			—	—	21.0	100.0	—
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費①		12,167	40,590	404,314	1,715,000	合計	404,314,480円	
	財源	特定財源	0	20,000	217,148	1,697,300	工事請負費	404,314,480円	
		一般財源	12,167	20,590	187,166	17,700			
	職員人件費②		1,971	1,489	3,048	2,276			
	総事業費（①+②）		14,138	42,079	407,362	1,717,276			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0		公共施設維持保全基金繰入金繰越金					
30年度以降の事業費見込		0							

会計名			第一学校給食センター建設事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	教育総務課
款	項	目		担当係	施設係
10	7	5			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など 		高い	昭和56年に建設し、老朽化した第一学校給食センター施設の移転新築による安定的な調理体制を確保するために必要不可欠であり、有効な手段である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など 		高い	アレルギー食や隣接して整備予定の特別支援学校への特別食への提供がスムーズにできるよう、また、小垣江東小学校の敷地内に移設することにより、南部地域への効率的な配送を可能にするものである。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など 		普通	学校給食法の中で、学校給食の設置者は学校給食実施基準に照らして適切な学校給食の実施に努めることが規定されており、市が主体となって実施すべき事業であるといえる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など 		普通	学校給食の普及充実に加えて学校における食育の推進が重要であり、学校給食の教育的な意義があるだけでなく、市民サービスとしての効果も大きい。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
学校給食施設は、建物は30年以上、設備は10～15年程度のスパンで使い続けるため、ライフサイクルコストに配慮した施設計画をしていくことが重要である。その上で、安全な給食を提供するとともに、アレルギー食の充実など時代の要請に合った施設運営を図る必要がある。					

会計名		委員研修事業				担当部	教育部		
一般会計						担当課	教育総務課		
款	項					目	担当係	総務係	
10	1					1			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化			主たる内容	○教育委員会委員研修旅費等		
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	教育内容の充実						
	目的	教育行政・教育問題についての研修を通し教育委員の資質向上を図ることで、教育委員会運営の活性化を図る。							
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	教育委員及び教育長	事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		委員研修未実施		委員研修を行った。 (11/25 東吉野村視察)		委員研修を行った。 (10/6 刈谷市民休暇村視察)		委員研修を行う。	
成果		教育行政・教育問題についての研修を通し、教育委員の資質向上を図った。							
課題		教育委員視察は有意義な事業として教育委員の資質向上、教育委員会の活性化に役立っているが、限定旅費となっているので金額により視察先が限定され、視察の計画を立てるにあたり苦慮している。例えば、数年に1回というような頻度であっても、視察先旅費相当分の予算が確保できれば、より有効的な委員研修の実施が可能となる。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (予算)	28年度 事業費内訳	
	事業費 ①		10	11	4	336	合計	3,750 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	旅費	3,750 円	
		一般財源	10	11	4	336			
	職員人件費 ②		774	783	313	341			
	総事業費 (①+②)		784	794	317	677			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0							
30年度以降の事業費見込		0							

会計名			図書充実事業				担当部	教育部			
一般会計							担当課	教育総務課			
款	項	目					担当係	総務係			
10	2	1						施設係			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	学校教育								
		施策の内容	教育内容の充実								
	目的	学校図書を「学校図書館図書標準」の水準に保ち、図書を継続的に更新することにより児童の読書指導に役立てる。また、図書システムの運用・管理を行い、児童の読書指導に役立てる。				主たる内容	○図書の購入費 ○図書システムの保守管理委託料 ○図書システム機器の賃借料 ○書架等備品の購入費				
	位置づけ										
	関連計画										
	根拠法令										
	対象者	市内小学生及び教員				事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他									
	B 事業 実績 O 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画			
図書の購入、入れ替えを継続的に行った。(7,790冊)また、図書システム(パソコン管理運用事業から移行)の管理を行った。		図書の購入、入れ替えを継続的に行った。(6,390冊)また、図書システムの管理を行った。		図書の購入、入れ替えを継続的に行った。(6,650冊)また、図書システムの管理を行った。		図書の購入、入れ替えを継続的に行う。また、図書システムの管理を行う。					
成果		学校図書館図書標準の水準を保っている。									
課題		「学校図書館図書標準」は全15校において基準をクリアしているが、継続的に図書の更新を行っていく必要があるため、現状どおりの事業規模が必要と考える。									
指標名称(単位)				実績値			目標値				
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度			
指標											
指標											
他市との比較検証											
C 事業 コスト		単位：千円		26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)	28年度事業費内訳			
	事業費①		16,544	16,684	16,465	14,528	合計	16,464,599円			
	財源	特定財源	2,000	2,000	2,005	0	需用費	10,348,981円			
		一般財源	14,544	14,684	14,460	14,528	委託料	2,408,400円			
	職員人件費②		1,126	940	391	417	使用料及び賃借料	2,748,060円			
	総事業費(①+②)		17,670	17,624	16,856	14,945	備品購入費	959,158円			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		28年度特定財源名称					
28年度までの累積事業費		0		寄附金							
30年度以降の事業費見込		0									

会計名 一般会計			一般教材整備事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	教育総務課	
10	2	2					担当係	総務係	
			分野	教育文化					
			基本施策	学校教育					
			施策の内容	教育内容の充実					
PLAN 事業概要 計画	目的		保護者負担経費の軽減と教育活動の充実を図る。	主たる内容	○児童用一般教材の購入 ○教師指導用教材の購入 ○特別支援学級の教材備品等の購入 ○全小学校の教材用備品等の更新及び新規購入 ○学校新聞等の印刷製本費				
	位置づけ	関連計画							
			根拠法令						
		対象者	市内小学生及び教員	事業期間	～				
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
BDO 事業実績 実績	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
	児童用一般教材を購入した。		児童用一般教材を購入した。		児童用一般教材を購入した。		児童用一般教材を購入する。		
	成果	児童用一般教材の購入を円滑に進めることができた。							
	課題	学校での印刷・資料作成機会の増により印刷製本費と消耗品費の児童数に応じた振分について検討を要する。							
	指標名称（単位）				実績値			目標値	
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費 ①		59,555	59,722	56,412	58,529	合計	56,411,593 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	43,262,951 円	
		一般財源	59,555	59,722	56,412	58,529	備品購入費	13,148,642 円	
	職員人件費 ②		1,056	1,567	1,065	570			
	総事業費（①+②）		60,611	61,289	57,477	59,099			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0							
30年度以降の事業費見込		0							

会計名		図書充実事業				担当部	教育部		
一般会計						担当課	教育総務課		
款	項					目	担当係	総務係	
10	3					1		施設係	
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化			主たる内容	○図書の購入費 ○書架等備品の購入費		
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	教育内容の充実						
	目的	学校図書を「学校図書館図書標準」の水準に保ち、図書を継続的に更新することにより生徒の読書指導に役立てる。							
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
	対象者	市内中学生及び教員		事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		図書の購入、入れ替えを行った。(4,997冊)		図書の購入、入れ替えを行った。(4,780冊)		図書の購入、入れ替えを行った。(4,781冊)		図書の購入、入れ替えを継続的に行う。	
成果		学校図書館図書標準の水準を保っている。							
課題		「学校図書館図書標準」は全6校において基準をクリアしているが、継続的に図書の更新を行っていく必要があるため、現状どおりの事業規模が必要と考える。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費 ①		9,998	9,585	9,976	10,000	合計	9,976,170 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	8,983,780 円	
		一般財源	9,998	9,585	9,976	10,000	備品購入費	992,390 円	
	職員人件費 ②		704	783	391	417			
	総事業費（①+②）		10,702	10,368	10,367	10,417			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
		28年度までの累積事業費		0					
30年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			一般教材整備事業				担当部	教育部
款	項	目					担当課	教育総務課
10	3	2					担当係	総務係
			分野	教育文化				
			基本施策	学校教育				
			施策の内容	教育内容の充実				
PLAN 事業概要 計画	目的	保護者負担経費の軽減と教育活動の充実を図る。			主たる内容	○生徒用一般教材の購入 ○教師指導用教材の購入 ○特別支援学級の教材備品等の購入 ○全中学校の教材用備品等の更新及び新規購入 ○学校新聞等の印刷製本費		
	位置づけ	関連計画						
		根拠法令						
		対象者	市内中学生及び教員	事業期間		～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他					
BDO 事業実績 実績	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
	生徒用一般教材を購入した。		生徒用一般教材を購入した。		生徒用一般教材を購入した。		生徒用一般教材を購入する。	
	成果	生徒用一般教材の購入を円滑に進めることができた。						
	課題	学校での印刷・資料作成機会の増により印刷製本費と消耗品費の生徒数に応じた振分について検討を要する。						
	指標名称（単位）				実績値		目標値	
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度
指標								
指標								
他市との比較検証								
C 事業コスト	単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費 ①		59,184	59,510	55,140	56,330	合計	55,140,393 円
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	40,365,210 円
		一般財源	59,184	59,510	55,140	56,330	備品購入費	14,775,183 円
	職員人件費 ②		1,056	1,332	837	563		
	総事業費（①+②）		60,240	60,842	55,977	56,893		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称		
28年度までの累積事業費		0						
30年度以降の事業費見込		0						

会計名			小学校管理事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	教育総務課	
款	項	目					担当係	総務係	
10	2	1						施設係	
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	小学校の円滑な管理運営を行う。		主たる内容	○光熱水費（プロパン・電気・水道・ガス） ○校舎等修繕費 ○電話料 ○点検手数料（空調・プール機器等） ○火災保険料 ○委託料（清掃・保守管理・樹木管理等） ○下水道使用料 ○メール配信ネットワーク使用料 ○土地借上料				
	位置づけ	関連計画							
			根拠法令						
		対象者	市内小学生及び教員	事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		光熱水費はじめ委託料など学校管理に必要な経費		光熱水費はじめ委託料など学校管理に必要な経費 高所窓ガラス清掃委託、理科薬品処理委託は隔年実施		光熱水費はじめ委託料など学校管理に必要な経費		光熱水費はじめ委託料など学校管理に必要な経費 高所窓ガラス清掃委託、理科薬品処理委託は隔年実施	
成果		光熱水費の節約に努めることができた。							
課題		光熱水費はその年の気温などに左右されやすく経費の増減が流動的で予想が難しい。また、樹木の剪定や高所窓ガラス清掃などは、要望が多く経費の増額が望まれる。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費 ①		167,239	158,443	152,975	181,438	合計	152,975,255 円	
	財源	特定財源	1,230	1,338	1,232	3,808	需用費	89,760,192 円	
		一般財源	166,009	157,105	151,743	177,630	役務費	9,705,878 円	
	職員人件費 ②		3,097	2,507	1,901	2,167	委託料	43,544,422 円	
	総事業費（①+②）		170,336	160,950	154,876	183,605	使用料及び賃借料	9,964,763 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
		28年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料 資源売却収入			
30年度以降の事業費見込		0							

会計名			校舎等補修事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	教育総務課		
款	項	目					担当係	施設係		
10	2	1								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実							
	目的	小学校の校舎、体育館等の小規模な補修を行い、学校施設の保全を図る。	主たる内容	小学校の校舎・体育館等の破損や痛みが激しい箇所の補修を行う。						
	関連計画									
	位置づけ	根拠法令								
	対象者	市内小学生及び教員		事業期間	～					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
		保守点検において危険と判断された遊具の修繕を行った。【全小学校】 プール防水膜の経年劣化によるめくれ等の修繕を行った。【小垣江・双葉小学校】		プールの給水バルブ修繕を行った。【東刈谷小学校】 プールろ過装置の修繕を行った。【東刈谷・衣浦・小垣江小学校】 暗幕等取替修繕を行った。【平成・かりがね・亀城・衣浦小学校】		プールろ過装置・防水膜等の修繕を行った。【住吉・富士松南・朝日・日高・平成・東刈谷小学校】 防球ネット・フェンスの修繕を行った。【亀城・日高・富士松南小学校】		プールろ過装置の修繕を行う。【日高・小高原・小垣江東・かりがね・富士松東小学校】 渡り廊下の防水修繕を行う。【富士松南小学校】 体育館通風口の修繕を行う。【日高・平成・東刈谷・双葉小学校】		
成果		修繕要望を精査し必要な箇所のみ修繕を行えた。								
課題		危険箇所などの補修を目的としているが、緊急、緊急でない補修をしっかりと見極める必要がある。								
C 事業 コスト	指標名称（単位）			実績値			目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
	指標									
	指標									
他市との比較検証										
C 事業 コスト	単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳			
	事業費 ①		6,307	7,946	6,022	8,000	合計	6,021,648 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	6,021,648 円		
		一般財源	6,307	7,946	6,022	8,000				
	職員人件費 ②		422	862	684	837				
	総事業費（①+②）		6,729	8,808	6,706	8,837				
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称					
	28年度までの累積事業費		0							
	30年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			屋外施設整備事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	教育総務課	
10	2	1			担当係	施設係			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	小学校のグラウンド、駐車場などの屋外施設の改修を行い、教育環境の保全を図る。			主たる内容	小学校のグラウンド、駐車場等のうち老朽化により、破損や痛みが激しい箇所の更新を行う。			
	関連計画								
	位置づけ	根拠法令							
	対象者	市内小学生及び教員			事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		老朽化した「亀城の森」に設置されている柵の取替えを行った。【亀城小学校】西門隣に、児童クラブへ送迎する車との交錯を避けるため歩行者専用門を新設した。【富士松南小学校】校地廻りのフェンスを改修した。【衣浦小学校】		グラウンド排水設備改修、体育館横側溝改修を行った。【かりがね小学校】防球ネットを延伸する改修を行った。【東刈谷・小高原小学校】砂場改修を行った。【日高小学校】		校内側溝改修を行った。【かりがね小学校】外灯の設置を行った。【富士松北小学校】砂場改修を行った。【朝日小学校】倉庫の更新を行った。【平成・東刈谷小学校】		グラウンド改修及び雨水貯留施設設置工事を行う。【富士松東小学校】倉庫の更新を行う。【亀城・かりがね・富士松南・小垣江東・東刈谷・朝日小学校】	
成果		学校からの要望や現地調査を重ね危険箇所について整備を進めている。							
課題		屋外施設については、大規模改造事業のような全体改修を行う計画をしていないため、必要になった箇所を個々に対応している。そのため、各学校ごとの現状をしっかりと把握することが重要となる。							
O 実施 V	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					26年度	27年度	28年度	29年度	31年度
	指標								
指標									
他市との比較検証									
C 事業 コスト	単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費 ①		39,231	7,727	13,923	74,500	合計	13,923,360 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	5,778,000 円	
		一般財源	39,231	7,727	13,923	74,500	工事請負費	8,145,360 円	
	職員人件費 ②		704	783	703	835			
	総事業費（①+②）		39,935	8,510	14,626	75,335			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0							
30年度以降の事業費見込		0							

会計名		緑化推進事業				担当部	教育部		
一般会計						担当課	教育総務課		
款	項					目	担当係	施設係	
10	2					1			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	小学校における苗木等の植樹や補植といった緑化推進を図り、「自然への慈しみ」がもてるような教育環境をつくる。	主たる内容	小学校へ苗木等の購入を行う。					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市内小学生及び教員	事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		苗木等の購入、植栽を行った。		苗木等の購入、植栽を行った。		苗木等の購入、植栽を行った。		苗木等の購入、植栽を行う。	
成果		様々な木々等を植えることができた。							
課題		植樹後の剪定等の樹木管理を考慮した苗木等の購入を行う。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費 ①		250	246	243	250	合計	243,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	243,000 円	
		一般財源	250	246	243	250			
	職員人件費 ②		493	470	234	30			
	総事業費（①+②）		743	716	477	280			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
		28年度までの累積事業費		0					
30年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			設備等改修事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	教育総務課	
10	2	1					担当係	施設係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	小学校の電気や管などの設備の改修を行い、教育環境の保全を図る。				主たる内容	老朽化により破損や痛みが激しい小学校の設備の改修を行う。		
	関連計画								
	位置づけ	根拠法令							
	対象者	市内小学生及び教員				事業期間	～		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		老朽化した非常放送設備の改修を行った。【富士松東小学校】		屋外にある放送設備の改修を行った。【衣浦・小垣江・東刈谷小学校】		防火設備の改修を行った。【平成・東刈谷小学校】		屋外放送設備、火災報知設備、浄化増メインブロウ及びエレベーターの改修を行う。【富士松東小学校】	
老朽化した体育館メインスピーカーの改修を行った。【亀城・かりがね小学校】		校舎の便所改修を行った。【住吉・朝日小学校】		体育館スピーカーの改修工事を行った。【日高・朝日小学校】		体育館の放送設備の改修を行う。【富士松北小学校】			
老朽化したエレベーターの更新及び改修【小高原（更新）・かりがね（改修）・富士松北小学校（改修）】		防犯カメラの更新を行った。【全小学校】		体育館の照明及びエレベーターの改修を行った。【平成小学校】					
成果	学校設備の取替が必要なものは順次更新を行っている。								
課題	設備関係については、大規模改造事業のような全体改修を行う計画をしていないため、必要になった時に必要になった箇所を個々に対応している。そのため、各学校ごとの現状をしっかりと把握することが重要となる。								
指標	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					26年度	27年度	28年度	29年度	31年度
他市との比較検証									
C 事業 コスト	単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費 ①		93,205	213,616	41,566	46,487	合計	41,565,960 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	6,868,800 円	
		一般財源	93,205	213,616	41,566	46,487	工事請負費	34,697,160 円	
	職員人件費 ②		986	1,489	1,407	986			
	総事業費（①+②）		94,191	215,105	42,973	47,473			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0							
30年度以降の事業費見込		0							

会計名			設備等補修事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	教育総務課		
款	項	目					担当係	施設係		
10	2	1								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実							
	目的	小学校の電気や管などの設備の小規模な補修を行い、学校施設の保全を図る。				主たる内容	小学校の破損や痛みが激しい設備の補修を行う。			
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者	市内小学生及び教員			事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
		消防設備の修繕・消火器の取替を行った。【全小学校】電気設備、防火扉の修繕及び揚水ポンプの取替を行った。【小垣江小学校】		消防設備の修繕・消火器の取替を行った。【全小学校】ガス調整器等の交換を行った。【小垣江、双葉小学校】屋内外の時計修繕を行った。【小高原、かりがね、朝日小学校】給水設備の取替を行った。【富士松北、富士松東、東刈谷小学校】		消防設備の修繕・消火器の取替を行った。【全小学校】ガス調整器等の交換を行った。【小垣江・双葉小学校】防火シャッターの修繕を行った。【富士松南・富士松東小学校】		消防設備の修繕・消火器の取替を行う。【全小学校】排水施設の詰り修繕を行う。【小高原・日高・衣浦・平成・朝日小学校】体育館舞台装置の修繕を行う。【衣浦・かりがね・富士松北・小垣江東小学校】		
成果		毎年の点検の結果を精査し必要な箇所のみ修繕を行うことができた。								
課題		危険箇所などの補修を目的としているが、緊急でない補修をしっかりと見極める必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
指標										
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費 ①		6,694	6,002	6,862	8,050	合計	6,861,592 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	6,861,592 円		
		一般財源	6,694	6,002	6,862	8,050				
	職員人件費 ②		422	783	782	835				
	総事業費（①+②）		7,116	6,785	7,644	8,885				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称				
28年度までの累積事業費		0								
30年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			コンピュータ教育事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	教育総務課	
10	2	1					担当係	総務係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	教育用コンピュータ等の維持管理を行い、児童への一貫した情報教育をすることにより、授業の理解度を高め、情報活用能力を育成する。	主たる内容	○消耗品費（トナー・インク・紙等） ○周辺機器の故障時の修繕費 ○コンピュータ教室の保守管理委託料 ○賃借料（パソコン及び周辺機器・教材用ソフト等）					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市内小学生及び教員	事業期間	平成10年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		コンピュータ教室の活用機器等保守点検		コンピュータ教室の活用機器等保守点検		コンピュータ教室の活用機器等保守点検		コンピュータ教室の活用及び更新機器等保守点検	
成果		コンピュータ教室の機器等の管理運営を行った。							
課題		コンピュータ教室の各学級別の利用時間は、学級ごとで差が大きいため、全ての学級で目標の年間10時間を達成したい。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費①		71,529	72,182	43,942	74,934	合計	43,942,006円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	4,618,831円	
		一般財源	71,529	72,182	43,942	74,934	委託料	15,356,925円	
	職員人件費②		1,056	548	304	342	使用料及び賃借料	23,966,250円	
	総事業費（①+②）		72,585	72,730	44,246	75,276			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
		28年度までの累積事業費		0					
30年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			空調設備整備事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	教育総務課		
10	2	1					担当係	施設係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実							
	目的	市内15小学校のすべての教室に空調設備を設置することで、児童の安全と教育環境の向上を図る。			主たる内容	大規模改造や改築事業が実施されない校舎にある、普通教室348室、特別教室78室に空調設備を設置する。 ※大規模改造や改築事業を行う校舎は、当該工事に合わせて設置。				
	位置づけ									
	関連計画									
	根拠法令									
	対象者	市内小学校の児童及び教員			事業期間	平成27年度～平成30年度				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 O 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
_____		普通教室及び空調設備の無い特別教室に空調設備を整備するための調査・設計を行った。		空調設備を整備するための調査・設計を完了した。		_____				
成果		学校と調整しながら、空調設備の設計を行うことができた。								
課題										
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
活動指標		設計進捗率（％）			—	5.0	100.0	—	—	
活動指標		工事進捗率（％）			—	—	—	—	100.0	
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費①		0	6,005	14,035	0	合計	14,034,600円		
	財源	特定財源	0	0	14,035	0	委託料	14,034,600円		
		一般財源	0	6,005	0	0				
	職員人件費②		0	548	391	0				
	総事業費（①+②）		0	6,553	14,426	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称				
28年度までの累積事業費		0		繰越金						
30年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			パソコン管理運用事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	教育総務課		
10	2	1					担当係	総務係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実							
	目的	指導用・管理用パソコンの借上げと、その機器維持管理のための運用委託管理を行う。 パソコンの積極的な活用による教育指導の向上及びグループウェアの利用により、開かれた学校づくりやより充実した授業づくりを行う。	主たる内容	○消耗品費（トナー・インク等） ○周辺機器の故障時の修繕費 ○指導用パソコンの保守管理委託料 ○賃借料（パソコン及び周辺機器・教材用ソフト等）						
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者	市内小学生及び教員	事業期間	平成12年度～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	D 実績 O 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
		指導用パソコンの運用 事務用プリンタの更新		指導用パソコンの運用及び一部更新 事務用プリンタの運用 デジタル教科書の購入		指導用パソコンの運用 事務用プリンタの運用 校内LAN機器の更新		指導用パソコンの運用及び更新 事務用プリンタの運用		
成果		指導用パソコンの管理運用及び一部指導用パソコンの更新をした。 また、小学校の教科書改訂に伴いデジタル教科書を購入。								
課題		各教科や総合的な学習の時間の指導での具体的で効果的な掲示物として、写真や資料をカラー印刷にする機会が増えてきた事でパソコン用カラープリンターのインク代が不足している。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			26年度	27年度	28年度	29年度	31年度			
指標										
指標										
他市との比較検証										
C 事業 コスト	単位：千円		26年度 （決算）	27年度 （決算）	28年度 （決算）	29年度 （予算）	28年度 事業費内訳			
	事業費 ①		73,832	106,263	71,238	74,967	合計	71,237,895 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	3,089,717 円		
		一般財源	73,832	106,263	71,238	74,967	役務費	4,599,990 円		
	職員人件費 ②		1,760	470	304	342	委託料	27,717,274 円		
	総事業費（①+②）		75,592	106,733	71,542	75,309	使用料及び賃借料	35,830,914 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称				
28年度までの累積事業費		0								
30年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			中学校管理事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	教育総務課	
10	3	1					担当係	総務係	
								施設係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	中学校の円滑な管理運営を行う。			主たる内容	○光熱水費（プロパン・電気・水道・ガス） ○校舎等修繕費 ○電話料 ○点検手数料（空調・プール機器等） ○火災保険料 ○委託料（清掃・保守管理・樹木管理等） ○下水道使用料 ○メール配信ネットワーク使用料			
		位置づけ							
	関連計画								
	根拠法令								
	対象者	市内中学生及び教員			事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
光熱水費はじめ委託料など学校管理に必要な経費		光熱水費はじめ委託料など学校管理に必要な経費 高所窓ガラス清掃委託、理科薬品処理委託は隔年実施		光熱水費はじめ委託料など学校管理に必要な経費		光熱水費はじめ委託料など学校管理に必要な経費 高所窓ガラス清掃委託、理科薬品処理委託は隔年実施			
成果		光熱水費の節約に努めることができた。							
課題		光熱水費はその年の気温などに左右されやすく経費の増減が流動的で予想が難しい。また、樹木の剪定や高所ガラス清掃などは、要望が多く経費の増額が望まれる。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費 ①		89,960	88,179	82,995	103,134	合計	82,994,940 円	
	財源	特定財源	1,032	867	1,060	848	需用費	54,668,809 円	
		一般財源	88,928	87,312	81,935	102,286	役務費	4,707,040 円	
	職員人件費 ②		2,957	2,115	1,673	2,053	委託料	19,178,872 円	
	総事業費（①+②）		92,917	90,294	84,668	105,187	使用料及び賃借料	4,440,219 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料 資源売却収入					
30年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			校舎等改修事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	教育総務課		
10	3	1					担当係	施設係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実							
	目的	各中学校の老朽化した校舎・体育館等の改修を行い、学校施設の整備及び保全を図る。			主たる内容	中学校の校舎・体育館等を改修する。				
	位置づけ									
	関連計画									
	根拠法令									
	対象者	市内中学生及び教員			事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業 実績 O 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
避難所となる体育館に網戸を設置した。【刈谷東中学校】北舎の劣化した屋上防水を改修した。【雁が音中学校】プールサイドの一部に耐熱塗装を行った。【刈谷東中・雁が音中・朝日中学校】		柔剣道場等の天井改修を行った。【刈谷南・富士松・雁が音・依佐美・朝日中学校】体育館等網戸設置を行った。【富士松・雁が音・刈谷南中学校】		体育館床の修繕を行った。【刈谷南中学校】柔剣道場梁の補修を行った。【朝日中学校】北舎の外壁改修を行った。【雁が音中学校】						
成果		各中学校の校舎等を計画的に改修することができた。								
課題		校舎改修については、大規模改造事業において改修を行う計画をしているが、大規模改造事業の目安である40年を経過しないうちに改修が必要になる箇所もあり個々に対応を行っている。そのため、各学校ごとの現状をしっかりと把握することが重要となる。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
指標										
指標										
他市との比較検証										
C 事業 コスト		単位：千円		26年度 （決算）	27年度 （決算）	28年度 （決算）	29年度 （予算）	28年度 事業費内訳		
	事業費 ①		39,961	174,642	48,536	0	合計	48,536,400 円		
	財源	特定財源	0	35,182	1,215	0	需用費	3,591,000 円		
		一般財源	39,961	139,460	47,321	0	委託料	842,400 円		
	職員人件費 ②		704	940	860	0	工事請負費	44,103,000 円		
	総事業費（①+②）		40,665	175,582	49,396	0				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称				
28年度までの累積事業費		0		学校施設環境改善交付金（国）						
30年度以降の事業費見込		0								

会計名			校舎等補修事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	教育総務課		
款	項	目					担当係	施設係		
10	3	1								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実							
	目的	各中学校の校舎等の小規模な補修を行い、学校施設の保全を図る。			主たる内容	中学校の校舎等の破損や傷みが激しい箇所の補修を行う。				
	位置づけ									
	関連計画									
	根拠法令									
	対象者	市内中学生及び教員			事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 実施	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
プール防水膜の経年劣化によるめくれ等の修繕を行った。【刈谷東中学校】 腐食した多目的ホールの床などの修繕を行った。【富士松中学校】 経年劣化により剥がれた体育館天井の断熱材の修繕を行った。【依佐美中学校】		プールろ過ポンプの修繕を行った。【刈谷南中学校】 屋上漏水箇所等の修繕を行った。【刈谷南・朝日中学校】 体育遊具の修繕を行った。【刈谷南・富士松・雁が音・朝日中学校】		グラウンド雨水排水・乗入部分修繕を行った。【刈谷南中学校】 プールろ過装置の修繕を行った。【雁が音・依佐美中学校】 プール温水シャワー用給湯器修繕を行った。【朝日中学校】		プール防水膜の修繕を行う。【刈谷東・朝日中学校】 プールろ過装置の修繕を行う。【刈谷東・富士松中学校】 体育館屋根の漏水修繕を行う。【依佐美中学校】				
成果		修繕要望を精査し必要な箇所のみ修繕を行うことができた。								
課題		学校によって校舎の傷み具合が違い、学校ごとの課題も出てくる。各学校の現状をしっかりと把握しなければいけない。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
指標										
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費 ①		7,987	8,432	5,162	8,000	合計		5,162,292 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費		5,162,292 円	
		一般財源	7,987	8,432	5,162	8,000				
	職員人件費 ②		422	470	380	837				
	総事業費（①+②）		8,409	8,902	5,542	8,837				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称				
28年度までの累積事業費		0								
30年度以降の事業費見込		0								

会計名			設備等補修事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	教育総務課	
款	項	目					担当係	施設係	
10	3	1							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化			主たる内容	中学校の破損や痛みが激しい設備の補修を行う。		
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	中学校の電気や管などの設備の小規模な補修を行い、学校施設の保全を図る。							
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市内中学生及び教員		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		消防設備の修繕・消火器の取替を行った。【全中学校】 給水設備などの修繕を行った。【刈谷東・富士松・雁が音中学校】 防火シャッターの修繕を行った。【富士松・雁が音・依佐美中学校】 浄化槽送風機の修繕を行った。【依佐美中学校】		消防設備の修繕を行った。【刈谷東・富士松・雁が音・依佐美中学校】 ガス調整器等の交換を行った。【刈谷東・富士松中学校】 給水設備修繕を行った。【依佐美・朝日中学校】		消防設備の修繕を行った。【全中学校】 ガス漏れ警報器等の交換を行った。【刈谷東・富士松中学校】 体育館の舞台装置の修繕を行った。【刈谷南・雁が音中学校】		消防設備の修繕を行う。【全中学校】 プール排水詰り修繕を行う。【刈谷南中学校】 雨水配管の修繕を行う。【雁が音中学校】 体育館の舞台装置の修繕を行う。【刈谷東・富士松・雁が音・依佐美・朝日中学校】	
成果		毎年の点検の結果を精査し必要な箇所のみ修繕を行った。							
課題		危険箇所などの補修を目的としているが、緊急、緊急でない補修をしっかりと見極める必要がある。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費 ①		7,950	4,962	5,991	10,700	合計	5,991,138 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	5,991,138 円	
		一般財源	7,950	4,962	5,991	10,700			
	職員人件費 ②		422	470	469	835			
	総事業費（①+②）		8,372	5,432	6,460	11,535			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
28年度までの累積事業費		0							
30年度以降の事業費見込		0							

会計名			コンピュータ教育事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	教育総務課	
款	項	目					担当係	総務係	
10	3	1							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	学校教育						
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実						
	目的	教育用コンピュータ等の維持管理を行い、生徒への一貫した情報教育をすることにより、授業の理解度を高め、情報活用能力を育成する。	主たる内容	○消耗品費（トナー・インク・紙等） ○周辺機器の故障時の修繕費 ○コンピュータ教室の保守管理委託料 ○賃借料（パソコン及び周辺機器・教材用ソフト等）					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市内中学生及び教員	事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画	
		コンピュータ教室の活用機器等保守点検		コンピュータ教室の活用機器等保守点検		コンピュータ教室の活用機器等保守点検		コンピュータ教室の活用及び更新機器等保守点検	
成果		コンピュータ教室の機器等の管理運営を行った。							
課題		コンピュータ教室の各学級別の利用時間は、学級ごとで差が大きいため、全ての学級で目標の年間10時間を達成したい。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳	
	事業費 ①		29,030	29,375	29,341	39,367	合計	29,340,948 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	4,449,252 円	
		一般財源	29,030	29,375	29,341	39,367	委託料	3,888,000 円	
	職員人件費 ②		1,056	548	304	342	使用料及び賃借料	21,003,696 円	
	総事業費（①+②）		30,086	29,923	29,645	39,709			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称			
		28年度までの累積事業費		0					
30年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			パソコン管理運用事業				担当部	教育部			
款	項	目					担当課	教育総務課			
10	3	1					担当係	総務係			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	学校教育								
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実								
	目的	指導用・管理用パソコンの借上げと、その機器維持管理のための運用委託管理を行う。 パソコンの積極的な活用による教育指導の向上及びグループウェアの利用により、開かれた学校づくりやより充実した授業づくりを行う。	主たる内容	○消耗品費（トナー・インク等） ○周辺機器の故障時の修繕費 ○指導用パソコンの保守管理委託料 ○賃借料（パソコン及び周辺機器・教材用ソフト等）							
	位置づけ	関連計画									
		根拠法令									
		対象者	市内中学生及び教員	事業期間	平成13年度～						
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 計画 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画			
		指導用パソコンの運用 事務用プリンタの更新		指導用パソコンの運用及び一部更新 事務用プリンタの運用		指導用パソコンの運用 事務用プリンタの運用 校内LAN機器の更新 デジタル教科書の購入		指導用パソコンの運用及び更新 事務用プリンタの運用			
成果		指導用パソコンの管理運用及び一部指導用パソコンの更新を行った。									
課題		各教科や総合的な学習の時間の指導での具体的で効果的な掲示物として、写真や資料をカラー印刷にする機会が増えてきた事でパソコン用カラープリンターのインク代が不足している。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度			
指標											
指標											
他市との比較検証											
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳			
	事業費①		40,525	40,723	45,273	36,470	合計	45,272,846円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	1,773,879円			
		一般財源	40,525	40,723	45,273	36,470	役務費	1,934,766円			
	職員人件費②		1,760	470	304	342	委託料	11,384,990円			
	総事業費（①+②）		42,285	41,193	45,577	36,812	使用料及び賃借料	21,203,763円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称					
		28年度までの累積事業費		0							
30年度以降の事業費見込		0									
備品購入費		8,975,448円									

会計名 一般会計			設備等改修事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	教育総務課		
10	3	1					担当係	施設係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実							
	目的	中学校の電気や管などの設備の改修を行い、教育環境の保全を図る。			主たる内容	中学校の老朽化により破損や傷みが激しい設備の改修を行う。				
	位置づけ	関連計画								
			根拠法令							
		対象者	市内中学生及び教員			事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
		屋外放送設備の改修を行った。【富士松中学校】 体育館放送設備及び故障が多発する親子時計の改修を行った。【雁が音中学校】 老朽化した火災報知機の改修を行った。【雁が音・朝日中学校】		プール給水管改修を行った。【雁が音中学校】 老朽化した体育館放送設備の改修を行った。【富士松・依佐美中学校】 調理室ガス器具取替を行った。【朝日中学校】 防犯カメラの更新を行った。【全中学校】		職員室空調設備改修及び非常放送設備の更新を行った。【依佐美中学校】 多目的室に除湿機を設置した。【朝日中学校】		体育館の女子便所の改修を行う。【刈谷南中学校】 剣道場に除湿機を設置する。【朝日中学校】 体育館にウォータークーラーを設置する。【全中学校】		
成果		各中学校の設備等を計画的に改修することができた。								
課題		設備改修については、大規模改造事業において改修を行う計画をしている部分もあるが、大規模改造事業の目安である40年が経過しないうちに改修が必要になる箇所もあり、個々に対応を行っている。そのため、各学校ごとの現状を把握することが重要となる。								
指標		指標名称（単位）				実績値		目標値		
					26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
	他市との比較検証									
C 事業 コスト	単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳			
	事業費 ①		46,486	17,452	12,906	10,800	合計	12,906,160 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	12,906,160 円		
		一般財源	46,486	17,452	12,906	10,800				
	職員人件費 ②		704	862	782	1,138				
	総事業費（①+②）		47,190	18,314	13,688	11,938				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称				
28年度までの累積事業費		0								
30年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			校舎等改修事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	教育総務課		
10	2	1					担当係	施設係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実							
	目的	小学校の老朽化した校舎、体育館等の改修を行い、学校施設の整備及び保全を図る。			主たる内容	小学校の校舎・体育館等を改修する。				
	関連計画									
	位置づけ	根拠法令								
	対象者	市内小学生及び教員			事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業 D 実績 O 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
		・小学校の老朽化した校舎・体育館の外壁改修を行った。【かりがね（校舎・体育館）・富士松南小学校（体育館）】 南舎の屋上防水の改修を行った。【住吉小学校】		多目的ホールの天井改修を行った。【平成小学校】 北舎の屋上防水の改修を行った。【住吉小学校】 校舎等の外壁塗装改修を行った。【平成・富士松東・小垣江・小垣江東小学校】		体育館等の床修繕を行った。【衣浦・かりがね・小垣江東・双葉・朝日小学校】 体育館に網戸を設置した。【亀城・小高原・日高・住吉・かりがね小学校】		体育館トイレブース及びプール薬品庫引戸の修繕を行う。【日高小学校】 配膳室折戸の修繕を行う。【平成小学校】 体育館にバスケットゴールを設置する。【富士松南小学校】		
成果		老朽化した校舎等の機能回復をすることができた。								
課題		校舎改修については、大規模改造事業において改修を行う計画をしているが、大規模改造事業の目安である40年を経過しないうちに改修が必要になる箇所もあり個々に改修を行っている。そのため、各学校ごとの現状をしっかりと把握することが重要となる。								
指標	指標名称（単位）				実績値			目標値		
					26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
他市との比較検証										
C 事業 コスト	単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳			
	事業費 ①		109,370	191,626	31,455	5,050	合計	31,455,216 円		
	財源	特定財源	9,775	28,199	0	0	需用費	2,590,056 円		
		一般財源	99,595	163,427	31,455	5,050	工事請負費	28,865,160 円		
	職員人件費 ②		986	1,959	1,329	986				
	総事業費（①+②）		110,356	193,585	32,784	6,036				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称				
28年度までの累積事業費		0								
30年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			屋外施設整備事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	教育総務課		
10	3	1					担当係	施設係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実							
	目的	中学校のグラウンド、駐車場などの屋外施設の改修を行い、教育環境の保全を図る。				主たる内容	中学校のグラウンド、駐車場等のうち老朽化により、破損や痛みが激しい箇所の更新を行う。			
	関連計画									
	位置づけ	根拠法令								
	対象者	市内中学生及び教員				事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業 D 実績 O 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
		土の流出により、凸凹ができたテニスコートの改修を行った。【雁が音中学校】 老朽化した石灰倉庫の取替を行った。【依佐美中学校】 老朽化した部活動用倉庫の取替を行った。【朝日中学校】		クラブハウス及びグラウンドの改修を行った。【刈谷南中学校】 グラウンドの改修を行った。【雁が音中学校】 老朽化した給水管更新を行った。【富士松中学校】		通路改修工事及びテニスコート防球ネット改修を行った。【雁が音中学校】 グラウンド改修を行った。【朝日中学校】 倉庫の更新を行った。【刈谷南・雁が音・依佐美中学校】		倉庫の更新を行う。【雁が音・依佐美・朝日中学校】		
成果		学校からの要望や現地調査を重ね危険箇所について整備を進めている。								
課題		屋外施設関係については、大規模改造事業のような全体改修を行う計画を策定していないため、必要なときに必要な箇所を個々に対応している。そのため、学校ごとの現状をしっかりと把握することが重要となる。								
指標		指標名称（単位）				実績値		目標値		
					26年度	27年度	28年度	29年度	31年度	
他市との比較検証										
C 事業 コスト	単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳			
	事業費 ①		5,054	67,152	39,907	2,200	合計	39,907,080 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	39,907,080 円		
		一般財源	5,054	67,152	39,907	2,200				
	職員人件費 ②		352	627	391	835				
	総事業費（①+②）		5,406	67,779	40,298	3,035				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称				
28年度までの累積事業費		0								
30年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			ICT教育事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	教育総務課		
10	2	1					担当係	総務係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	学校教育							
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実							
	目的	各教科の授業の中で電子黒板を利用することにより、「わかる授業」や「魅力のある授業」の実現に役立てる。				主たる内容	○電子黒板の保守管理委託料 ○賃借料（電子黒板）			
	位置づけ									
	関連計画									
	根拠法令									
	対象者	市内小学生及び教員			事業期間	平成27年度～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画		
		電子黒板を市内小学校へ1台ずつ新規導入した。		電子黒板の運用		電子黒板の運用				
成果		電子黒板の導入により、デジタル教科書の更なる有効活用が図れた。								
課題		電子黒板の増設の要望が多く、今後検討が必要。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度		
活動指標		電子黒板設置台数（台）			—	15.0	—	—	—	
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳		
	事業費①		0	4,484	4,160	4,161	合計 4,160,160円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料 486,000円			
		一般財源	0	4,484	4,160	4,161	使用料及び賃借料 3,674,160円			
	職員人件費②		0	627	234	266				
	総事業費（①+②）		0	5,111	4,394	4,427				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称				
		28年度までの累積事業費		0						
30年度以降の事業費見込		0								

会計名			特別支援学校整備事業				担当部	教育部			
一般会計							担当課	教育総務課			
款	項	目					担当係	施設係			
10	1	3									
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	学校教育								
		施策の内容	学校施設・設備の整備・充実								
	目的	障害のある児童生徒に対して、普通学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上及び生活上の困難を克服し、自立を図るために、必要な知能技能を授ける機会の充実を図る。	主たる内容	小垣江東小学校の敷地内に新たに校舎を増築し、特別支援学校として整備する。							
	位置づけ	関連計画									
		根拠法令	特別支援学校施設整備指針								
		対象者	衣浦定住自立圏域の肢体不自由児・者	事業期間	平成26年度～平成28年度						
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 計画	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度計画			
		（仮称）刈谷市立特別支援学校等整備検討委員会を開催し、特別支援教育に関わる者から意見を集約した上で、基本計画・基本設計を行った。		特別支援教育連携協議会小委員会を開催し、特別支援教育に関わる者から意見を集約した上で、実施設計を行った。		建設前の事前工事を行った。		—			
成果		特別支援教育連携協議会小委員会を開催し、特別支援教育に関わる者から意見を集約した。特別支援学校の実施設計をとりまとめた。特別支援学校の建設前の事前工事を進めた。									
課題		工事が長期間に渡り、学校全体で施工されるため、子どもたちの教育環境と安全性の確保に万全を期す必要がある。									
指標名称（単位）				実績値			目標値				
				26年度	27年度	28年度	29年度	31年度			
活動指標		設計進捗率（％）			26.0	100.0	—	—	—		
活動指標		建設工事進捗率（％）			—	—	100	—	—		
他市との比較検証		市立の特別支援学校を開設している、瀬戸市や豊橋市の例を参考とした。									
C 事業コスト		単位：千円		26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（予算）	28年度事業費内訳			
	事業費①		13,839	40,247	49,179	0	合計	49,178,880円			
	財源	特定財源	0	0	49,179	0	工事請負費	49,178,880円			
		一般財源	13,839	40,247	0	0					
	職員人件費②		1,971	1,959	0	0					
	総事業費（①+②）		15,810	42,206	49,179	0					
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		28年度特定財源名称					
		28年度までの累積事業費		0		繰越金					
30年度以降の事業費見込		0									